

登録コード	SSG05614	開講年度	2026				
授業題目	特別研究（生物学ユニット）					担当教員	松本 卓也
英文授業名	Special Research(Biology Unit)					副担当	
単位数	6	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	不定期		
講義室					備考		
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】				【授業の達成目標】		
	2 4 SSカリ・理学						
	～24SS【DP3】それぞれの研究分野における高度な専門的知識とグローバルな情報収集・発信能力				進化の理論と生物多様性の概念を理解する。		
	2 6 SSカリ・理学、2 5 SSカリ・理学、2 4 SSカリ・理学						
	【DP4】創造性豊かな優れた研究・開発能力				人類進化論に関する最新研究を理解し、自身の研究に生かせるようになる。		
	【DP5】専門知識に基づいた見識を持ち、その妥当性を理論的に説明し、議論する能力				社会集団を形成する動物の進化を、個体・社会両方の次元で理解する。		
	2 6 SSカリ・理学、2 5 SSカリ・理学						
	【DP3】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力				進化の理論と生物多様性の概念を理解する。		
(2)授業の概要	人類学・霊長類学・行動生態学分野における自らの研究課題の立案、調査・研究の遂行、得られたデータの解析と考察、論文執筆、以上の一連の研究活動を実施する。毎週の研究室内のセミナーにおいて、研究活動の進捗状況を研究室内のメンバー間で議論し合いながら、研究の方向性を再検討する。また、研究を遂行する各段階において、関連分野の研究集会や学会での発表を行い、関連分野の専門家等からの意見等を参考にしながら、よりよい修士論文作成を目指す。						
(3)授業のキーワード	人類学、霊長類学、進化、社会、生活史						
(4)授業計画	毎週行われるセミナーでの議論に参加する。定期的にセミナーで自身の研究について発表をし、研究計画を再検討する。修士課程における研究の集大成として、得られたデータを修士論文としてまとめ、口頭発表する。						
(5)成績評価の方法	修士論文、および口頭発表・質疑応答の内容等により総合的に評価する。						
(6)成績評価の基準	1) 研究計画の立案（研究課題の設定および研究手法の計画立案） 2) 関連分野における最新研究の把握 3) セミナーにおける活発な議論参加 4) 関連する研究会・学会での成果発表および研究計画の再検討 5) 修士論文の口頭発表（わかりよい発表および適切な質疑応答） 6) 修士論文の執筆（的確な論旨および論理的な展開） 以上のすべての項目を高いレベルで満たす場合には「S」評価とする。 おおよそ達成できたばあいには「A」評価とする。 以下、達成の度合いに応じて段階的に評価をするが、修士論文の提出および口頭発表の両方ができなかった場合には「不可」とする。						
(7)事前事後学習の内容	自信で設定した研究課題に関連する論文や書籍を自身で調べることは必須である。						
(8)履修上の注意	開講に先立ちガイダンスを実施する。受講希望者は担当教員と連絡を取ること。						
(9)質問、相談への対応	直接訪問および電子メールにより、随時受け付ける。						
【教科書】	自然人類学（3STEPシリーズ）、中村美知夫・森本直紀（編）、昭和堂						
【参考書】	指定しない。						